

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 高水福祉会 かすたねっと		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 12日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 6日		～ 令和8年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供が安心して楽しく通えている。	生活介護との多機能事業所のため、生活介護の職員とも話し合いながら楽しめるような活動を提供できている。 医療的ケアの放課後等デイサービスなので、看護師が配置されている。 緊急時のマニュアルを作成している。	放課後等デイサービスの職員だけでなく生活介護の職員も放課後等デイサービスの活動に関わり、活動の幅を広げる。 緊急マニュアルの定期的な見直し。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	医療的ケアの放課後等デイサービスなので、看護師を配置し看護師が支援や個別支援計画に関わる事で、家族と共通理解が出来ている。 ご家族と相談しながら計画を作成。記録も個別支援計画に沿った記録の記入を行い、振り返りが出来るようにしている。 ご家族と連絡帳や送迎時に子供の状況などを伝えている。	半年ごとの振り返りは行い、何か変化があった場合はその都度話し合っているが、成長過程でもあるため中間地点で定期的にモニタリングを行う事も必要。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと交流する機会について交流の機会がもてていない。	医療的ケアのお子さんが利用する放課後等デイサービスの為、感染症のリスク等により交流の時期が限られてしまう。また、その日の体調により活動を組めない場合もあるため、計画的に進めるのが難しい。	・生活介護で交流を行っている小学校に生活介護だけでなく放課後等デイサービスの事業の活動紹介も行う。 ・小学校へのお礼の小物作りなどには毎回参加してもらっており、手紙等で伝えている。
2	ペアレントトレーニングや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会がない。	ペアレントトレーニングについて、研修を受講していないため、専門性やスキルを持った職員がいない。 研修会については、家族を対象とした研修会の情報自体が事業所に来ていない。	ご家族にどんな研修について参加したいかなどアンケートを行い、それに沿った研修の情報をお伝えする。
3	こどもや家族からの相談や申入れの対応について、ご家族が知らない。	ご家族から相談があった場合、その都度対応し、契約の時もお伝えはしているが、窓口やどういう経過で解決されるなど、対応の体制についてはご家族に周知されていなかった。	ご家族にお便りで相談窓口や解決までの流れなど解り易く周知する。